

潜入スパイ 時雨マユミ

拘束バイブデイルド責め編



女スパイ

時雨マユミ

あらゆる
非合法的組織へ
潜入するため
彼女は

頭脳も身体も
鍛え抜かれ
犯し難い綺麗な美貌を
兼ね備えていた

そのおかげで
侵入・捜査・美人局
なんでもござれの

エリート
スパイである





しかし
そんな彼女に

おかしい

潜入は
完璧だった...

まるで
蜘蛛の糸の
ような

私が逃げられない
ほど奥の部屋に
来た瞬間
なぜかブザーが...

手を上げて
投降しろ!

動くな!

様々な
魔の手が
忍び寄り

大きな陰謀に
巻き込まれる
ことになる...

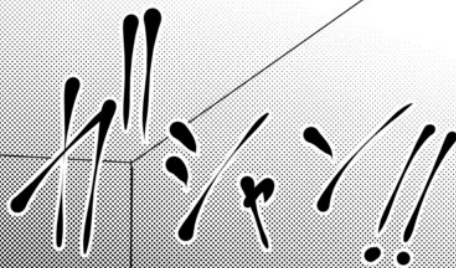
これは...
ハメられたか
...?

...くそ

す...

手を
縛られ

一時
投降した
マユミは



失策1

独房か？

ここは

とある
小さな監禁部屋の
椅子に縛られていた

何か…
独特な雰囲気のある
部屋だ…

ムクッ

ムクッ

ムクッ…



ユキエ様
例の賊は
こちらに…

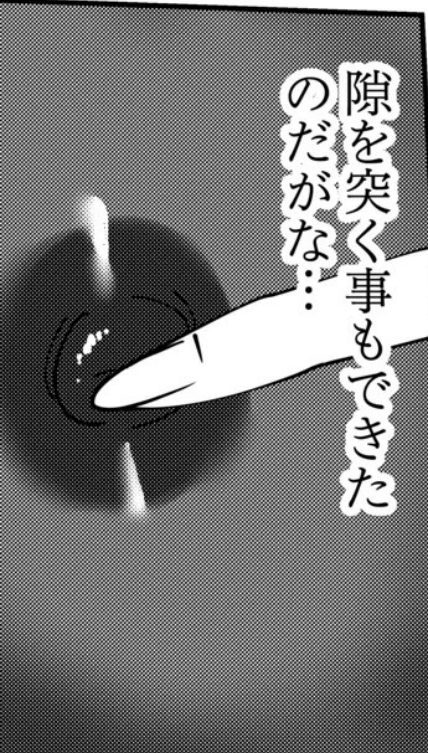
ありがと

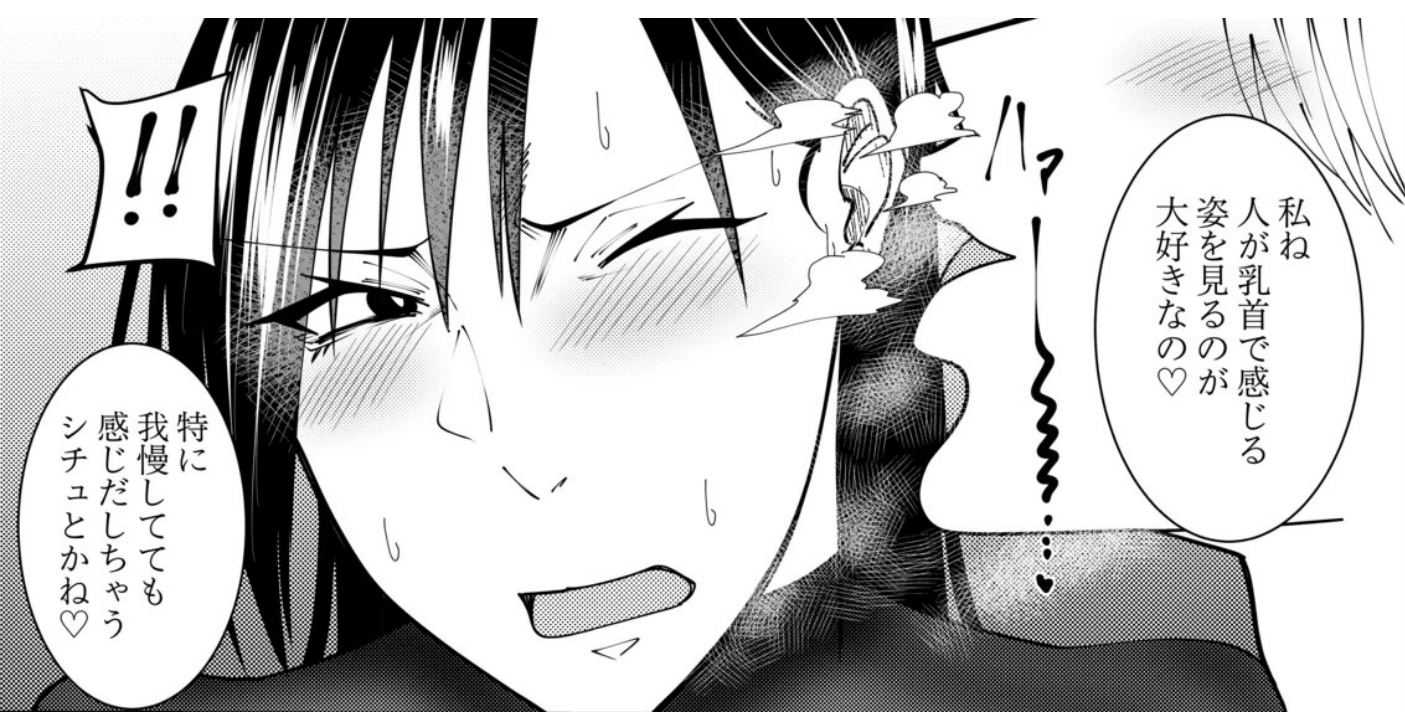
この女ね

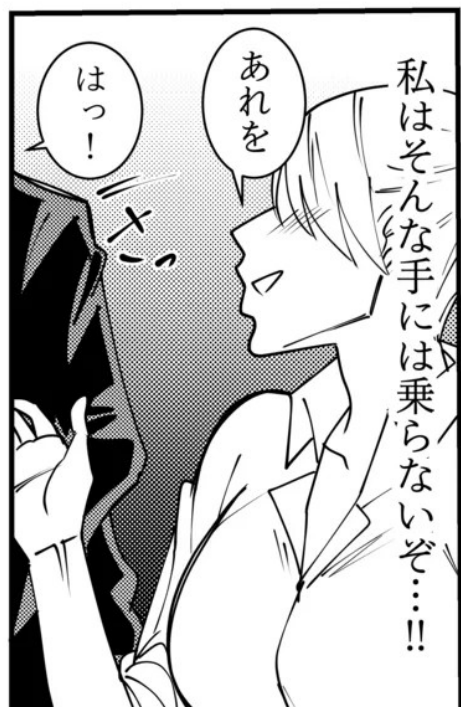
忍び込んだ
ネズミは

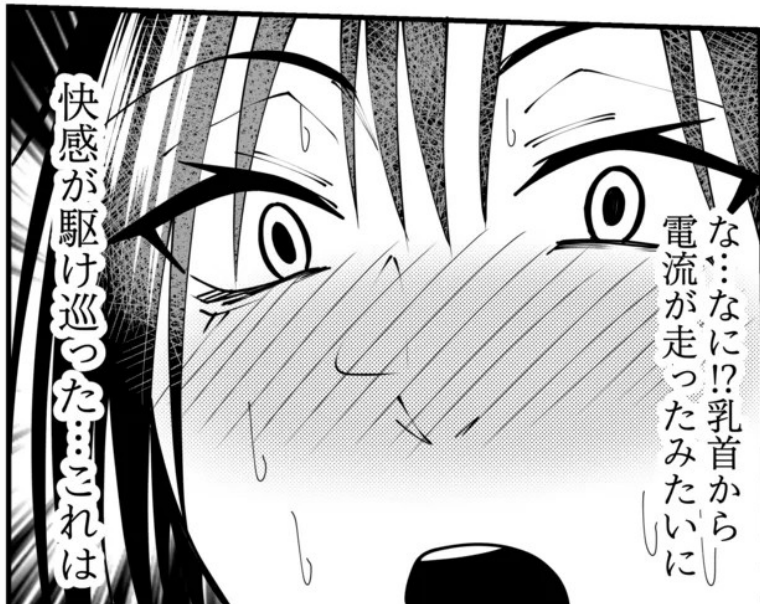
…

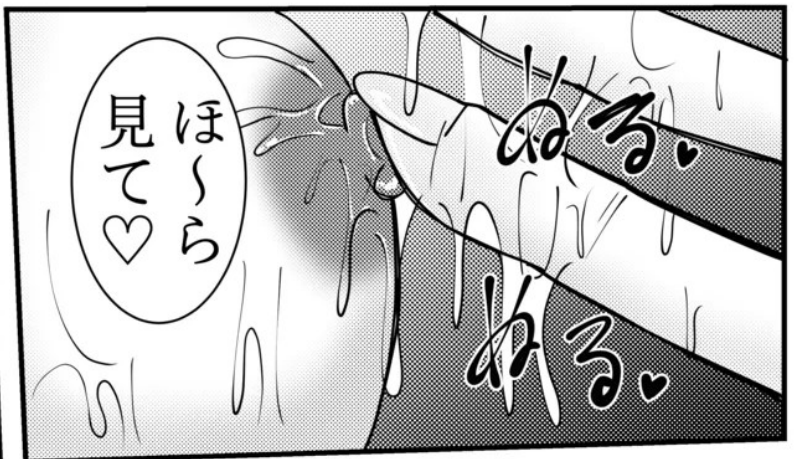
まっ
聞きたいことは
たくさんあるけど
：





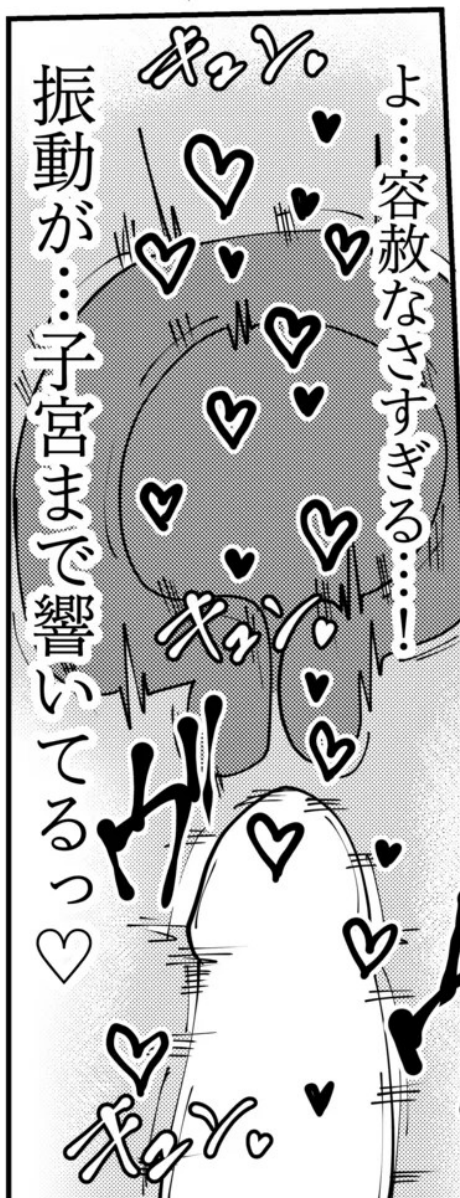
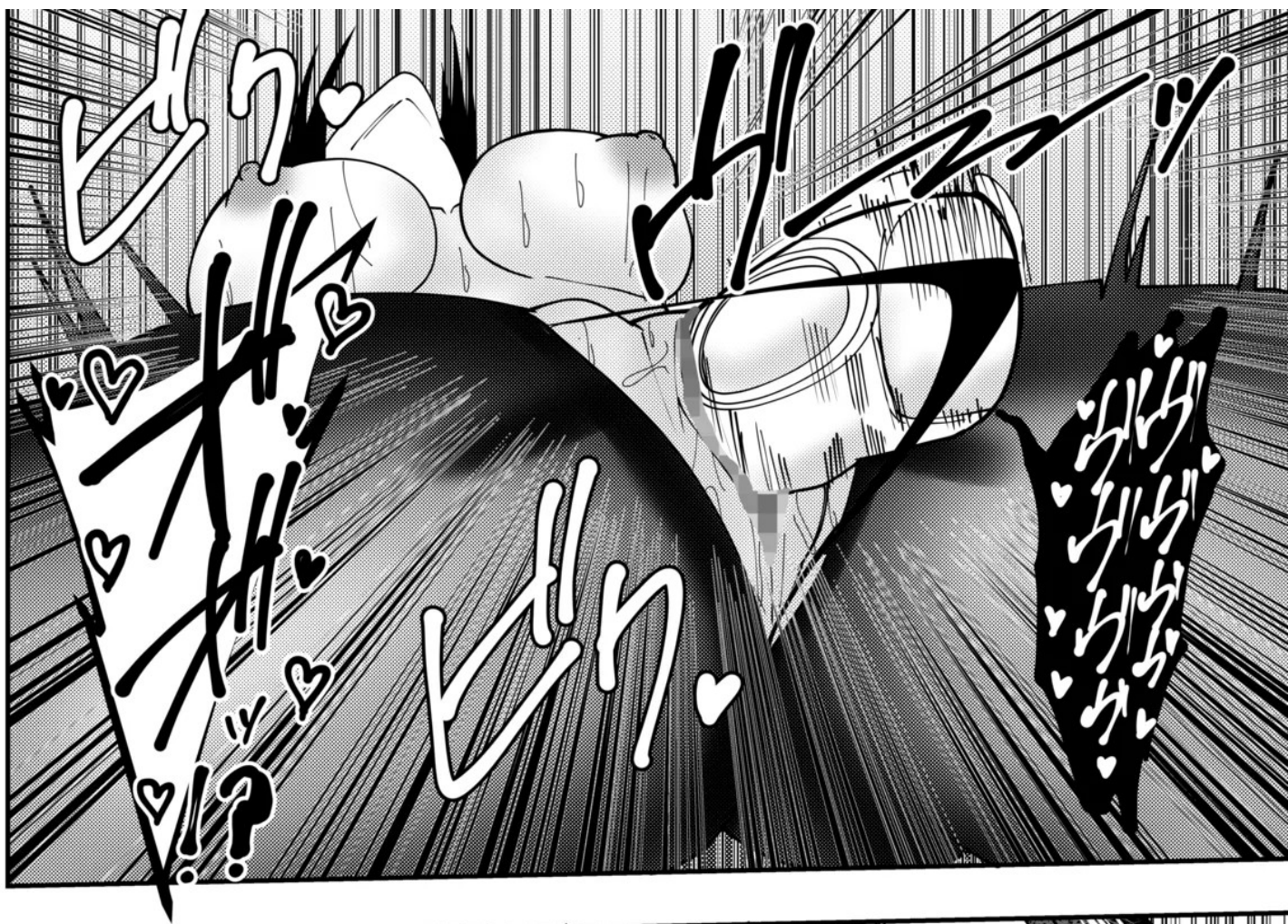












振動が...子宮まで響いてるっ♡

よ...容赦なさすぎる...



何これ!!
何これ何これ♡

おぐっ♡



おおおおおっ♡



